

できることから取り組もう

みんなで考える環境ワークショップを開催



▲テーマについて話し合う中学生

令和6年11月30日、市役所で同ワークショップを開催しました。中学生・一般の2部制で実施し、合わせて28人が参加。地球温暖化の状況を知り、地域や家庭でできることを話し合いました。

参加者はさまざまな視点で活発に意見交換。「今の地球がどれだけ深刻な状態か分かった」「これからの取り組みの参考になった」などの感想が聞かれ、誰もが自分ごととして理解を深めました。

第16回世界空手道選手権大会

世界大会優勝などを市長に報告



▲左から河谷さん、市長、村上さん

令和6年11月25日、村上和真さん（春日原小学校6年）^{むらかみ かずま}、河谷春子さんが井上市長を訪問し、10月に群馬県で開催された同大会での活躍を報告しました。いずれも、年齢区分による形の部に出場。第3位の村上さんは「次は金メダルを取れるように練習に励みたい」と語り、優勝した河谷さんは「毎回、成長と発見があり、好奇心が止まらない。引き続き練習を重ねたい」と抱負を述べました。

春日イーグルスサッカークラブU-18

2年連続全国大会出場を報告



▲春日イーグルスサッカークラブの皆さん

令和6年12月9日、NPO法人春日イーグルスのサッカークラブU-18（18歳以下）の選手ら16人が井上市長を訪問し、地域クラブの全国大会である「日本クラブユースサッカー（U-18）^{タウンクラブカップ} 2024」への出場決定を報告しました。

主将の山本慶悟さんは、「昨年よりも良い成績を残せるよう、春日市の代表として戦ってきます」と力強く意気込みを語りました。

★表紙関連

地域の交流を深める

市内各地区で餅つきを開催



▲つきたての餅をみんなで丸める作業

令和6年12月の土・日曜日、市内の多数の地区で餅つきが行われました。杵と臼を使った餅つきが珍しくなった現代。自治会では、力を合わせて一緒に餅をついたり、丸めたりという一連の作業を通じ住民の交流を深める目的で毎年開催されています。

春日公園地区では、もち米40キログラムを用意し、中学生ボランティアも大活躍。子どもから高齢者まで、誰もが笑顔で楽しんでいました。